

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>◆教育目標「つながり・チャレンジする 子どもたち・学校」～学ぶ・暮らす・支え合う～を学校経営の中で具現化・具体化し、発信する学校を目指す。</p> <p>◆共生社会の形成に貢献する「特色ある特別支援教育」を推進し、これからの特別支援教育において積極的な役割を果たす学校を目指す。</p> <p>◆全ての児童生徒が、社会の中でより良い生活を実現する力を獲得するために、「わかる」「できる」力を伸ばす教育を実践する学校を目指す。</p>	<p><学校経営></p> <ul style="list-style-type: none"> 各学部・校務分掌が連携し、年間計画に基づいて取組を推進したが、主体的な研修参加が今後の課題である。 業務集中把握シートを活用して校務の整理・見直しを行い、次年度に向けた業務改善を進めた。 校務における生成 AI 活用の実証研究を行い、業務効率化の可能性を確認し活用を促進した。 学校防災会議を計画的に開催し、防災学習の全体計画作成と各種緊急時訓練を実施した。 ヒヤリハット事例の全体共有に課題が残り、情報共有体制の見直しが必要である。 SC や医療・外部機関等と連携し、個別ケースに応じた支援と対応を行った。 学校運営協議会の助言を教育活動改善に活かし、地域との連携と発信を継続した。 通級担当者と校内コーディネーターが連携し、校内支援体制の充実を図った。 <p><教育活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程について5項目で整理・検討を行い、次年度のシラバスや年間計画に反映した。 ICT 活用は広がったが、実践共有や全体研修の充実が今後の課題である。 関係機関と連携し蔵書数を増やすとともに、図書室環境整備と利用促進を進めた。 京都八幡高等学校と連携し、新たに共生社会コースとの交流授業を実施した。行事内容変更に伴い、次年度は交流方法や目標設定の見直しが必要である。 職場開拓を進め実習先を拡大し、関係者と連携して進路実現に取り組んだ。小中学部保護者も対象とした進路説明会を実施し、高いニーズを把握した。 	<p>「人権を基盤に、共生と挑戦で子どものミライを拓く学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ※保護者・地域が信頼できる学校 ※児童生徒が学びたい学校 ※教職員がやりがいをもち働きたい学校 ・児童生徒、教職員、保護者、地域社会の Well-being が高まる好循環を生み出す ・全学部の教育課程の実践・授業改善で具現化 <p>【4つの柱】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人権を基盤とした教育 2 共生社会の推進に向けて 3 挑戦する学び(ICT・地域資源活用) 4 持続可能な学校組織(多様な働き方・専門機関連携) <p>【5つの重点取組テーマ】</p> <p>テーマ1 学習指導要領の趣旨を踏まえた持続的な授業改善と教職員の専門性向上</p> <p>テーマ2 徹底した安心・安全な学校経営の推進</p> <p>テーマ3 地域社会連携の推進と積極的な情報発信</p> <p>テーマ4 コンプライアンスの徹底と人権意識の向上</p> <p>テーマ5 働きがいを高め、業務改善を進める持続可能な学校づくり</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価		
組織・運営	働きがいを高め、業務改善を進める持続可能な学校づくり	各学部、各校務における学校経営方針を具現化するマネジメントの実施			
		チームで支え合う学校運営、業務の見直し・精選による負担軽減と教育の質の両立を目指した校務における生成 AI 等の活用と WG での検討・組織の改善			
		人材育成を基盤に、教師が日常的に学び続けられる校内の仕組みの整備や、他校の実践や取組を知る視察等の実施			
	徹底した安心・安全な学校経営の推進	児童生徒の命と人権を最優先にした教育活動の推進			
		法令に基づいた医療的ケアの実施、防災・事故防止・予防、危機管理意識の徹底			
		心身の安全と心理的安全性を大切に学級・学校づくり			
		子どもも教職員も安心して学び・働ける環境の整備			
	コンプライアンスの徹底と人権意識の向上	法令遵守・服務規律を土台に、公務員・社会人としての高い倫理観の形成			
		ハラスメントのない、互いを尊重し合える学校文化の醸成			
		人権教育・人権感覚を日常の教育実践・意思決定・行動に反映			
		子ども・保護者・教職員・地域すべての Well-being を支える学校であるという共通理解の形成			
	地域社会連携の推進と積極的な情報発信	開校 20 年目に向けた高等学校、地域の小中学校との交流から共同学習への発展と地域資源を活用した学習・職業教育の推進			
福祉・医療・労働等の専門機関との連携強化とセンター的機能の発揮					
学校運営協議会の円滑な運営及び学校運営等への評価の活用					
HP、Instagram を活用した学校情報の積極的な発信					
教育課程・学習指導	学習指導要領の趣旨を踏まえた持続的な授業改善と教職員の専門性向上	流れ図・個別の指導計画等を活用した授業づくりと評価の改善			
		自立活動を各教科等の学びを支える視点として位置付け、教育活動全体で資質・能力を育成			
		ICT・生成 AI・図書環境を活用した学習環境の充実			
		日常的な対話や研修をとおして、探究的に学び続ける教職員集団の形成			

個々の生徒に応じた希望進路の実現	各学部をつながり意識した、組織的かつ計画的な進路指導の実施、教職員の研修				
	希望進路の実現に向けた進路選択の幅の拡大及び保護者への情報提供と研修会の実施				

学校運営協議会による評価	
次年度に向けた改善の方向性	